

## 様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 7月 21日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都府宮津市惣 262 番地  
 氏 名 グンゼ株式会社 宮津工場  
 工場長 田畠 忍  
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0772-22-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	グンゼ株式会社 宮津工場
事業場の所在地	京都府 宮津市 惣 262 番地
事業の種類	ニット製下着製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日 /

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,258.200 t	全処理委託量	246.200 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	180.000 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	246.200 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1,012.000 t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 汚泥 )

有 償 物 量

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
②

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③

①排出量  
1,388,500

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑧

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量  
⑫189,100

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑪

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
⑬

自ら中間処理した後  
自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑭

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量  
⑯

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量  
⑯

⑪189,100

項目	実績値
①排出量	1,388,500
②+⑧自ら再生利用を行った量	④1,388,500
⑤自ら熱回収を行った量	④のうち熱回収を行った量 ⑤
⑦自ら中間処理により減量した量	⑦1,199,400
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	1,199,400
⑩全処理委託量	189,100
⑪優良認定処理業者への処理委託量	189,100
⑫再生利用業者への処理委託量	189,100
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 廃プラスチック類、繊維屑 )	
有 債 物 量	不要物等発生量	自ら直接 再生利用した量 ②	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧
排 出 量	①66,400	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫66,400
項目	実績値	自ら中間処理 した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥
①排出量	66,400	④のうち熱回収 を行った量 ⑤	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦
②+⑧自ら再生利用を 行った量			直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑬
⑤自ら熱回収を行った量			⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑭
⑦自ら中間処理により減 量した量			⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑮
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量			⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑯
⑩全処理委託量	66,400		⑫再生利用業者への処理 委託量 ⑬熱回収認定業者への処 理委託量 ⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量 ⑮

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 廃油 )	
項目	有償物量	項目	実績値
①排出量	①0.420	④自ら中間処理した量	④
②+⑧自ら再生利用を行った量		④のうち熱回収を行った量	⑤
⑤自ら中間処理により減量した量		自ら中間処理により減量した量	⑥
⑦自ら埋立処分を行った量		自ら中間処理した後の残さ量	⑨
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩
⑩全処理委託量	0.420	⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑪
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.420	⑫再生利用業者への処理委託量	0.420
⑬熱回収認定業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑮
⑮自ら中間処理した後再生利用した量	②	⑯自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	③
⑰自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑧	⑰のうち再生利用業者への処理委託量	⑯
⑱自ら直接再生利用した量		⑲のうち再生利用業者への処理委託量	⑰
⑲自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑳のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑲
⑳自ら直接再生利用した量		㉑のうち優良認定処理業者への処理委託量	㉑

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属屑 - )

有 傷 物 量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③

排 出 量	実績値
①0.000	0.000

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理により減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑪のうち優良認定 業者への処理委託量
①排出量	0.000	④	⑥	⑦	⑨	⑫0.000	⑬
②+⑧自ら再生利用を行った量				④のうち熱回収を行った量	⑤		
⑤自ら熱回収を行った量							
⑦自ら中間処理により減量した量							
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量							
⑩全処理委託量	0.000						
⑪優良認定処理業者への 処理委託量							
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.000						
⑬熱回収認定業者への処 理委託量							
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量							

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫0.000

⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑫0.000

⑫のうち優良認定 業者への処理委託量
⑬

⑪のうち優良認定 業者への処理委託量
⑭

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。